

ごろには、全体の3分の1スパンを使って6アンテナ系として稼働しはじめ、年末には、10素子として動く。この時、既存のケンブリッジやウェスターボークの干渉計をしのぐことになる。このころになると全体のシステムとしてはほぼ完璧に動きはじめており、次の年度からは、ベースラインを伸ばしたり、アンテナを増したり(年に約4基ずつ)しながら観測をしてゆく。つまり、1977年から1981年にかけては、年々、その能力をあげながら観測する予定でいる。さて、VLAが完全な完成に近づく1980年ごろとは、日本にとってどんな年であ

ろうか? 太陽は、このころ最大活動期(どういわけか、これは世界共通!)で、また、日本の45mおよび5素子超合成干渉計計画は(順調にいっている)このころ一足さきに完成することになる。(平林 久)

お 知 ら せ

来る 9 月 25 日より東京天文台堂平観測所の電話が自動化され、電話番号が下記のように変更になります。
新番号 04936-7-0224

賛 助 会 員 名 簿

(1975年8月5日現在の本会賛助会員は下記のとおりであります。ここに社名、代表者名を掲載させて頂いて感謝の意を表します。(五十音順))

旭光学工業株式会社	鈴木幸三郎	ソニ一株式会社	井深大
朝日新聞社科学部	梅田敏郎	谷村株式会社新興製作所	谷村昌子
アストロ光学工業株式会社	滝沢馨	地人書館	中田威夫
岩波書店	岩波雄二郎	天文博物館	
宇宙開発事業団	島秀雄	五島プラネタリウム	五島昇
沖電気工業株式会社	佐藤敦之	東京電力株式会社	木川田一隆
カールツアイス株式会社	波木泰雄	東北電力株式会社	若林 疆
関西電力株式会社	芦原義重	ナルミ商会	村上俊男
関東電気工業株式会社	関井忠夫	日本光学工業株式会社	彌永恭二郎
九州電力株式会社	瓦林潔 <small>カワ</small>	法月鉄工所	法月惣次郎
啓文堂松本印刷	松本喬	丸善株式会社	司 忠
恒星社厚生閣	志賀正路	三鷹光器株式会社	中村義一
甲南カメラ研究所	西村中子	三菱電機株式会社	
五藤光学研究所	五藤斉三	電子営業第二部	伊東祐義
金光教本部教庁	金光鑑太郎	ミノルタカメラ株式会社	田嶋一雄
島田理化学工業株式会社	前田幸夫	八洲測量株式会社	西村正紀
新電子工業株式会社	山本和一	フジ見商会	坂本多賀志
誠文堂新光社	小川茂男		

1975年6月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	—, —	6	1, 4	11	—, —	16	1, 7	21	0, 0	26	3, 11
2	1, 2	7	—, —	12	—, —	17	1, 18	22	—, —	27	3, 18
3	1, 3	8	0, 0	13	0, 0	18	—, —	23	0, 0	28	—, —
4	1, 4	9	0, 0	14	0, 0	19	1, 6	24	1, 12	29	—, —
5	—, —	10	0, 0	15	—, —	20	0, 0	25	—, —	30	1, 15

(相対数月平均値: 7.1)

昭和50年8月20日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒112 東京都文京区水道2-7-5	啓文堂 松本印刷
定価 300 円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話武蔵野 31局 (0422-31) 1359	振替口座東京 13595